



親子で楽しみながら乳がんセルフチェックができる ボール絵本 - ママのチェックをチェック -



BACKGROUND

忙しい母親にこそチェック習慣を

日本の乳がん検診受診率は諸外国と比べてとても低い上に、月に1度のセルフチェックを継続的に行う女性はわずか9%しかない*。この現状を打破するため、乳がん罹患率が上がり始める30代女性の中でも特に忙しい子育て中の母親に焦点を当てた中京テレビは、彼女たちにとって、もっとも影響力のあるメッセンジャー＝子どもを巻き込んでいくアイデアを考えた。

※出典：乳がんに対する意識調査①～ピンクリボンフェスティバル2020 独自アンケートの結果～

IDEA

バスタイムに子どもが「リトルドクター」になる

子育て中の家庭にとって育児の一環であり、コミュニケーション機会でもあるバスタイムを活用し、母親のセルフチェックを子どもがサポートするボール絵本を制作。直接的なバスト表現が苦手な女性たちでも子どものおもちゃとして受け入れやすいデザインと、子どもがままごとの「リトルドクター」になりきって読み聞かせる仕立てが、自然と母親にセルフチェックを習慣化させる。同時に、子ども自身が幼いうちからセルフチェックの重要性や方法を身につけるエデュケーションブックにもなる。

RESULT

乳がんは母親1人の問題ではなくなった

ボール絵本はヘルスケアイベントや住宅展示場で、多くの親子に楽しい乳がんセルフチェック体験をもたらした。さらには図書館に所蔵され、公衆浴場でも活用されることで、乳がんという話題になりにくいトピックが身近で親しみやすいものに。また、SNS上のプレゼントキャンペーンではフォロワーが500%に増えるほどの反響を呼び、乳がんを母親1人の問題とせず、家族で見守るという新しいメッセージが広く浸透した。

TWITTER FOLLOWERS UP TO 500%



中京テレビは5年に渡って乳がん啓発事業を行っており、プロジェクトロゴはセルフチェックの方法を記憶させるデザインとして浸透している。

